

第5回 「人文知」コレgium

富山，地域性を彩る祭りとことば

2018.1.31 (水) 13:30-15:30
富山大学人文学部1階大会議室

「富山の祭りの魅力を考える： 福野夜高祭を事例にして」

社会文化講座(文化人類学)教授
藤本 武

【要旨】富山には魅力的な祭りがいくつもある。砺波平野一帯で行われる夜高祭は、優美なものとして知られる。南部に位置する南砺市福野の夜高祭は、「引き合い」とよばれる互いの行燈を壊す勇壮な儀礼的喧嘩で有名である。しかし、この祭りには引き合いにとどまらない豊かな魅力がある。本発表では福野夜高祭の魅力について考えてみたい。

「敬語：そのバリエーションと 富山県方言」

東アジア言語文化講座(日本語学)教授
中井精一

【要旨】日本語に「方言」と呼ばれる地域日本語が存在するように、「敬語」にも日本各地に体系や運用の異なる形式がある。本発表では、富山県を中心とした西日本社会各地でのフィールドワークにもとづいて、敬語運用のバリエーションとその運用を例示し、既存の敬語研究の問題点を指摘し、多様な日本語敬語の姿をとらえる視点や説明体系を提示したい。

お問い合わせ：

富山大学人文学部総務課

TEL 076-445-6131

FAX 076-445-6141

福野夜高祭(撮影：藤本武)